

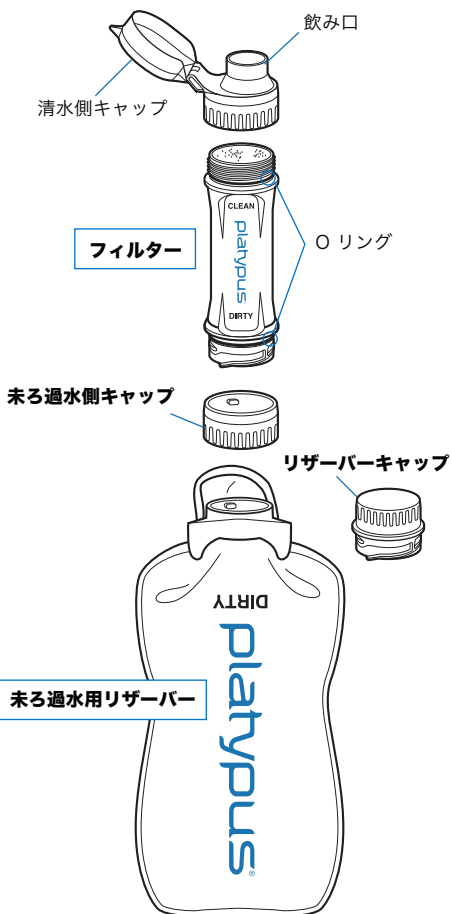
QUICKDRAW™

マイクロフィルター

QuickDrawは、中空糸膜テクノロジーを使用し水中の病原菌や淡水源における原生動物を除去します。本製品はウイルスを除去することはできません。



QUICKDRAW に含まれるもの



QuickDraw 未ろ過水用リザーバーは、QuickDrawマイクロフィルターシステムにのみ含まれています。
(マイクロフィルター単品のみのご購入には含まれません。)

警告

生物災害

ろ過処理されていない水に対して浄水器を使用する際は、常に細心の注意が必要です。未ろ過の水を飲んだ場合、有害な微生物を摂取することになり、消化器疾患を起こす恐れがあります。また、フィルターが不適切に使用された場合、有害な微生物を摂取することになり、消化器疾患を起こす恐れがあります。本取扱説明書に記載される警告や指示に従い、病気になる危険性を可能な限り抑えられるよう、バックカントリーでの正しい水の摂取方法について学んでください。使用者には、自分自身の安全および周りの人々に対する安全の責任があります。判断は適切に行ってください。本製品は、海水や鉱山の廃石池からの水、大規模農場近くなど化学物質で汚染された水などのろ過には決して使用しないでください。本製品は、このような水源の水を飲用水に変えることはできません。またウイルス、化学物質、放射性物質、0.2 μm以下の微粒子を除去することもできません。二次汚染を防ぐため、未ろ過水用リザーバー、リザーバーキャップ、未ろ過水側キャップや、その他汚染の可能性がある部品をろ過済みの水に近づけないでください。本取扱説明書に記載されている指示・警告をすべて読み、十分理解した上で、本製品をご使用ください。警告および指示に従わない場合、消化器疾患を起こす恐れがあります。

重要事項

本取扱説明書を全てよく読み理解した上で、フィルターを組み立ててご使用ください。フィルターを適切に使用しない場合、保証が無効となり、消化器疾患が発生する可能性があります。本取扱説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。本取扱説明書の説明で不明な点や、ご質問等がある場合は株式会社モチツキまでお問い合わせください。
ユーザーサポートダイヤル：0256-32-0860



必ずお読みください

初めてご使用になる場合について

初めてご使用になる場合はフィルターが乾燥しているため、流量が少なくなっています。実際に使用する前に自宅で3-4Lの水道水をフィルターに通してフィルターを「濡らして」ください（「QuickDrawの使用法」を参照）。

中空糸膜には触らないでください。QuickDrawの性能および、フィルター寿命を失う可能性があります。

取水について

できる限りきれいで透明な水源を利用してください。可能な限り溜まり水ではなく流水をろ過するようにしてください。沈殿物のある水や濁った水は、ろ過しないでください。フィルターがすぐに目詰まりします。

水中にウイルスの存在が疑われる水の浄水には、認定を受けている飲料水用殺菌剤をご使用ください。

Oリングについて

フィルターには、Oリングが使用されています。フィルターをリザーバーに取り付けるのが困難になった場合は、Oリングが損傷していないか確認してください。必要に応じてOリングを交換するか、食品にも使用することのできる安全なシリコン潤滑剤を塗布してください。リップクリームを潤滑剤として使用することもできます。

QUICKDRAW の使用方法

QuickDrawフィルターは、完全に組み立てられた状態です。箱から取り出したあと3-4Lの水を通してフィルターを濡らし、互換性のあるリザーバーあるいはボトルに取り付けるとろ過を開始できます。

QUICKDRAW フィルター + QUICKDRAWリザーバー

1. リザーバーのリザーバーキャップを取り外し安全な場所に置きます。
2. 水源で 未ろ過水用リザーバーに水を入れます。(図 1)
3. QuickDrawフィルターの未ろ過水側キャップを取り外し、安全な場所に置きます。(図2a) フィルターをリザーバーに取り付けます。(図2b) フィルターの未ろ過水側とリザーバーがしっかりと接続していることを確認します。
4. リザーバーを逆さまにしてフィルターよりも上になるようにし、フィルターが水に浸されるようにします。(図 3)
5. ろ過後キャップを開き、ろ過された水が飲み口から清水用リザーバーまたは口に注がれるようにします。(図 4)
6. 一定の圧力でリザーバーを押し、リザーバーが空になるまで、あるいは必要な水量をろ過するまで水を中空糸膜のフィルターを通して押し出します。リザーバーを少しずつ絞ると、水を効果的にろ過することができます。

図 1



図 2a



図 2b



図 3

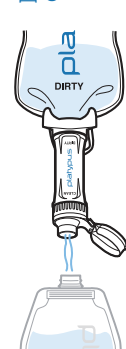
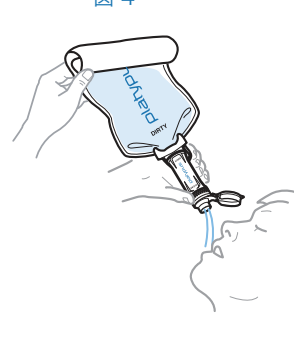


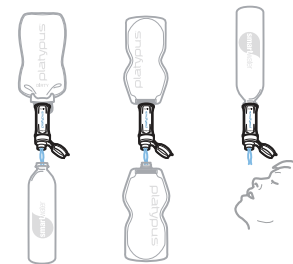
図 4



多用途モード

QuickDrawには、QuickDrawの未ろ過水用リザーバー以外にも、以下のようなボトルとリザーバーを使用することができます。使用方法は、左記1〜6に従ってください。

- Platypus® SoftBottles™
- Platypus 2L
- Platypus Water Tank
- Platypus® Hoser
- smartwater®ボトル



注意：smartwater®ボトルは、硬質の口径が28mmのペットボトルで、清涼飲料水/飲料水ボトルの一般的なサイズです。QuickDrawの内側のネジ山は、ここに挙げたボトル以外にも互換性を有している場合があります。smartwater®ボトル以外でも互換性があるかを確認めるには以下の点検を行い、水漏れが無いかを確認してください。

1. ボトルを水で満たします。
2. それを QuickDraw フィルターに取り付けます。内側のネジ山は、口径28mmのペットボトルに合います。
3. 清水側キャップを閉め、フィルターを逆さまにしてボトルを押しします。
4. ボトルとフィルターの間から水が漏れているかどうかを確認します。漏れがある場合、そのボトルには互換性がありません。

注意：smartwater®ボトルのような硬質ボトルを使用する場合、しばらくボトルから水を押し出したあと、フィルターとボトルの接続部分を緩め、ボトル内に空気を入れてから接続部分を閉め直し、残りの水を押し出す必要がある場合があります。

直接口に流し込む

QuickDrawを上記のいずれかのリザーバーまたはボトルと共に使用する場合、ろ過水を安全に直接口に流し込むことができます。

警告

QuickDrawマイクロフィルターを落としたり凍結させたりしないでください。フィルターが損傷した場合、有害な微生物を除去することができません。フィルターが損傷していると思われる場合は、安全チェックを実施してください（「安全チェック」参照）。フィルターが損傷している場合、使用を中止してください。

警告

飲み口が未ろ過の水で汚染された場合、水をろ過する前あるいは飲み口から水を飲む前に、飲み口を清水または漂白剤溶液（「消毒および長期保管」参照）ですすいでください。

フィルターのクリーニング

目詰まりを防ぎ、フィルターを長くご使用いただくために、フィルターは8Lを過す毎に洗浄してください。

シェイククリーニングの手順

フィールドでフィルターのクリーニングを行う最も簡単な方法はシェイクする方法です。

- 使用する未ろ過水用リザーバーまたはボトルに、水源から1Lの水を入れます。
- 3/4Lをフィルターでろ過し、1/4Lをリザーバーに残します。
- まず、フィルターとリザーバーを水平に持ち、左右に約15秒間強く振ります。(図5a)
次に、フィルターがリザーバーの上になるようフィルターとリザーバーを縦に持ち、上下に約15秒間強く振ります。(図5b)
- フィルターをリザーバーから外し、リザーバー内を空にします。再度水を未ろ過水用リザーバーに入れ、フィルターでろ過します。
- 流量が十分回復していない場合は、これを繰り返します。問題が続く場合は、バックフラッシュを試してください(「バックフラッシュ手順」を参照)。

図 5a

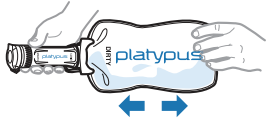
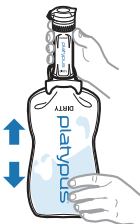


図 5b



バックフラッシュクリーニングの手順

QuickDrawは、smartwater、Platy SoftBottleまたはその他の口径が28mmのペットボトルでバックフラッシュすることができます。バックフラッシュは、最も効果的なフィルターのクリーニング方法です。

- 使用する清水用ボトルまたはリザーバーボトルを清水で満たします。(未ろ過用リザーバーは使わないでください)
- フィルターの未ろ過水側キャップを取り外して横に置きます。
- フィルターの飲み口をボトルに差し込みます。きちんと差し込まれると、隙間なくぴったり合わさります。
- ボトルがフィルターの上になるように引っ張り返し、清水がフィルターに逆流するようにボトルを押します。水がフィルターの未ろ過水側から流れ出すので、濡れないように気を付けてください。(図6)
- バックフラッシュは最低0.5Lの水、あるいは未ろ過水側から流れ出す水が透明になるまで行います。

図 6



注意：フィールドでバックフラッシュする場合、QuickDrawの清水側を汚染しないように、清水を入れるためのリザーバーまたはボトルが必要です。

消毒および長期保管の方法

長期保管をする前にフィルターを消毒することで、フィルター内の微生物の繁殖を防ぎ、次回使用時の流量を確保し、フィルターを長くご使用いただけます。

- 未ろ過水用リザーバーまたはボトル内に、2.5mL (小さじ1/2杯) の漂白剤と1Lの水道水を入れ混ぜます。
- 漂白剤溶液の入ったリザーバーにフィルターを取り付け、キャップは安全な場所に置きます。
- リザーバー内の漂白剤溶液の半分をフィルターに通し、ろ過します。
- 清水側キャップをフィルターに取り付け、30分間そのままにします。
- その後、残りの半分をフィルターに通し、再度清水側キャップを取り付け、30分間そのままにします。
- リザーバーからフィルターを取り外しリザーバーを乾燥させます。リザーバーが完全に乾燥するまでは、リザーバーキャップは外したままにします。
- フィルターの余分な水気を切り、キャップを取り付けます。※
- その他の構成部品を乾燥させます。リザーバーが乾燥したらキャップを取り付けます。
- 直射日光を避け、凍結または落下しない場所に保管します。

※：中空糸膜は消毒されている限り、濡れた状態で保管して問題ありません。漂白剤溶液が微生物の繁殖を防ぎます。一方、完全に乾燥した中空糸膜は凍結する恐れはありません。環境に合わせて選択してください。

注意：中空糸膜フィルターを完全に乾燥する方法

- 消毒後、未ろ過水側キャップを外したままにし、清水側キャップを開けます。
- そのままの状態、フィルターを室温で最低1週間乾燥させます。

警告

QuickDrawフィルターは、決して0°C以下の気温で保管しないでください。フィルターを凍結させると中空糸膜に回復不能な損傷が発生します。

警告

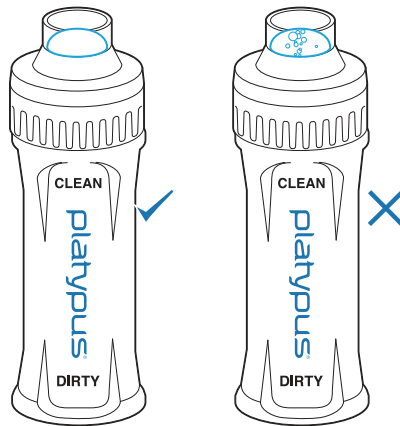
フィルターの消毒または洗浄に食器洗浄機は決して使用しないでください。高温により中空糸膜が溶融または損傷します。

安全チェック

フィルターを落下させたり凍結させたりすると、フィルター内の中空糸膜が損傷する可能性があります。損傷が心配な場合は、フィルターの使用が安全かどうかを以下の手順に従い点検してください。

- 未ろ過水用リザーバーに1Lの水を入れ、フィルターの未ろ過水側に取り付けます。
- 約半分の水をフィルターでろ過します。
- リザーバーを引っ張り返し、フィルターの下部(汚水側)がリザーバー内の空気に接触する状態にします。
- リザーバーを強く20秒間押し、フィルターを通して空気を押し上げます。
- この20秒間に、ろ過後の中空糸膜から継続的に気泡が飲み口に出てくるかどうかを確認します。
- 継続的に気泡が出てくる場合、中空糸膜が損傷しているのでフィルターの使用は安全ではありません。

注意：安全チェックを行う際、中空糸膜が完全に濡れていることを必ず確認します。完全に濡れていない場合、チェックの結果が正しくない可能性があります。フィルターが乾燥している場合、中空糸膜を完全に濡らすため、3-4Lの水をフィルターに通します。フィルターを濡らすときは、可能な限り清水を使用します。



限定保証

保証期間

ご購入日より1年間

限定保証について

正規販売店より購入をされた第一購入者で購入を証明するレシートを提示頂いた購入者に限り、購入当時の状態に材質・製造が原因で起きる不具合が認められる製品に対して、製品の耐用年数の間は弊社の負担で修理・交換を行います。

保証に含まれないもの

購入後に生じた不具合、不当な使用による不具合、又は妥当かつ必要なメンテナンスを怠った場合に起こる不具合、天災や誤った使い方による破損、ご購入から1年を超えて発生する経年劣化、紫外線による縫目又は生地傷みや激しい使用による生地破れ等、品質に直接関係無い故障、色褪せ、すり減り、こすれ/傷などの場合は保証対象外とし適正な価格による通常修理を行います。更に、製品に少しでも改造が加えられている場合、正しく使用されていない場合、誤用・放置されていた場合は、本保証は適用されず、修理もお断りする可能性があります。

対応について

プラティパス正規販売店から購入されたプラティパス製品で、製品パーツに材質上の欠陥や製造上の欠陥が認められた場合は、製品の耐用年数の間は弊社の負担にて修理又は交換を行うものとします。なお、保証対象のプラティパス製品において、弊社にてその製品の販売を中止した場合や、修理することが不可能と判断した場合、同等の価値かつ機能を備えた製品を交換品として提供するものとします。

保証対応が必要な場合

購入者が不良を発見した場合は、購入店舗あるいは輸入代理店である弊社に必ず事前連絡をした上でレシートを同封の上で製品を送付してください。事前連絡なしでの返品はご遠慮ください。

お問合せ先

株式会社モトツキ

〒955-0093 新潟県三条市下須頃323

ユーザーサポート 0256-32-0860

www.e-mot.co.jp

